

# ジャパンリンクセンター 新規ストラテジー

---

Japan Link Center (JaLC)  
2022年12月15日

◆ ジャパンリンクセンターストラテジーとは

◆ 現ストラテジーのご紹介

「ジャパンリンクセンターストラテジー2017-2022」

◆ 新規ストラテジー 概要

## ◆ ジャパンリンクセンターストラテジーとは

### ◆ 現ストラテジーのご紹介

「ジャパンリンクセンターストラテジー2017-2022」

### ◆ 新規ストラテジー 概要

- **ジャパンリンクセンター(JaLC)における  
運営方針**
- 平成22年8月「ジャパンリンクセンター推進検討委員会(第1回)」において運営方針が決定されて以降、5-6年で見直すこととなっている。
- 現ストラテジーは「ジャパンリンクセンターストラテジー 2017-2022」

◆ ジャパンリンクセンターストラテジーとは

◆ 現ストラテジーのご紹介

「ジャパンリンクセンターストラテジー2017-2022」

◆ 新規ストラテジー 概要

- DOIやメタデータがオープンに活用されることを推進します。
- 国際的な協調を図りつつ、日本における学術リソース、学術環境、言語等の多様性を生かした DOI の登録環境を整備します。
- 学術において必要な様々なリソースに ID を付与する環境を構築します。
- 研究データの利活用を促進し、オープンサイエンスの実現に貢献します。
- コミュニティの醸成に貢献します。

## ストラテジーを遂行するための5つのアクション

1. 研究者が利用する様々なリソースに DOI を登録できるようにします。
2. 外部機関とのメタデータ連携促進、メタデータ検索機能の充実、DOI の利用状況の提供に取り組みます。
3. グローバルな研究 IT インフラとして、研究に関わる他の ID サービスとの連携を強化します。
4. 研究環境の変化に応じた柔軟なサービス開発体制を構築します。
5. 研究者、研究機関、図書館員、図書館、出版社、教育者、教育機関、IT 技術者、情報サービス提供者、研究助成機関、学会等を含む広範なコミュニティの醸成を図ります。

現ストラテジーについては

JaLC Webサイト

「JaLCについて」→「ストラテジー」

よりご覧いただけます。

※ロードマップについても記載しています。



Japan Link Centerによる  
DOI登録件数

**10,021,236**

2022年10月末時点

Japan Link Center (JaLC) は  
DOI財団から、国際的な識別子であるDOI登録  
(RA) に認定された日本で唯一の機関です。

電子化された学術論文、書籍、論文付随情報、研究データなどにDOIを登録し、コンテンツの  
(URL) 等とともに管理しています。国内学術機関の4機関が共同で運営しています。

## ストラテジー

### ジャパンリンクセンター ストラテジー 2017-2022

ジャパンリンクセンターが購入すべき機能および運営方針は、平成22年8月に「ジャパンリンクセンター推進検討委員会（第1回）」において決定されました。この運営方針等は設立から5～6年で見直すこととされました。この度、これを受けて、5年程度先を見据えた運営方針として「ジャパンリンクセンターストラテジー 2017-2022」を策定しました。

📄 [「ジャパンリンクセンター ストラテジー 2017-2022」.pdf \(PDF: 183KB\)](#)

このストラテジーに記載された各項目を実現するための道筋である「ジャパンリンクセンター ストラテジー 2017-2022を実現するためのロードマップ」を平成30年3月に決定しました。

📄 [「ジャパンリンクセンター ストラテジー 2017-2022」を実現するためのロードマップ.pdf \(PDF: 395KB\)](#)

令和2年度時点でのストラテジー実施状況を概観し、今後の取り組みについてまとめた「ジャパンリンクセンター ストラテジー 2017-2022を実現するためのロードマップ」の改定版を定めました。

📄 [「ジャパンリンクセンター ストラテジー 2017-2022」を実現するためのロードマップ改定版 PDF \(PDF: 346KB\)](#)



◆ ジャパンリンクセンターストラテジーとは

◆ 現ストラテジーのご紹介

「ジャパンリンクセンターストラテジー2017-2022」

◆ 新規ストラテジー 概要

# 新規ストラテジー

- 「ジャパンリンクセンターストラテジー2017-2022」は今年度をもって終了

## 次期5年に向け、 「新規ストラテジー・アクション案」を作成中

### 【内容】

「ジャパンリンクセンターストラテジー2017-2022」を  
以下の通り変更

- 目標として達成できている箇所の見直し 例)ORCID連携 など
- 実現の難しい箇所の新規削除や見直し
- 今後の5年に新たに必要と思われる項目の追加

# 新規ストラテジー

## 作成の流れ

### 方針

#### の決定

- 打ち合わせを通し、「ジャパンリンクセンターストラテジー2017-2022」からの変更点を元に今回の新規ストラテジーのフレームを決定 【JaLC運営委員・有識者】

### 案の作成

- 上記打ち合わせでの決定事項を元に新規ストラテジー・アクション案を作成 【JaLC事務局】
- 新規ストラテジー・アクション案の審議 【JaLC運営委員・有識者】

### 対話・共創の場

- **イベント参加者への告知・意見募集 (本日)**

### 決定

- 令和4年度第4回JaLC運営委員会での確定 (予定)

# 新規ストラテジー・アクション案 一覧

ストラテジー・アクションの関連をわかりやすくするため、**全てに項番を付与**

新規ストラテジー	新規アクション
1. 国際的な協調を図りつつ、日本における学術リソース、学術環境、言語等に対応した DOI の登録、利活用環境を整備します。	1-1. 日本の学術リソースへのDOI登録インフラ環境を整備します。 1-2. 会員への柔軟なDOI登録支援を行います。
2. 学術において必要な様々なリソースへのDOIの登録を促進させます。	2-1. 研究者が利用する様々なリソースへのDOI登録のため、メタデータ登録情報の整備を行います。 2-2. ユーザーに対し多様なリソースへのDOI登録の利用促進を行います。
3. DOI やメタデータのオープンな利活用を推進します。	3-1. 他のIDサービスとの連携を行い、学術インフラサービスや学術情報サービスとの連携を強化します。 3-2. JaLCにおけるメタデータ検索機能の充実、DOIの利用状況の提供に取り組みます。 3-3. ユーザーの意見を収集し、研究環境の変化に応じたサービス開発を目指します。
4. オープンサイエンスの推進に向けて、研究データの利活用の促進に取り組みます。	4-1. 研究データのDOIに対して、国内外の組織と連携し、研究データ利活用を促進させます。 4-2. 研究データ利活用協議会(RDUF)との協力関係をより強化します。
5. DOIを活用する学術コミュニティの活性化に貢献します。	5-1. DOI活用促進のために、イベント等を通じて、DOIの理解を深めると共に、ユーザー同士のコミュニケーションを促進させます。
6. コミュニティのニーズに応える、透明性の高い持続的な組織運営を目指します。	6-1. DOIが長期的に運用されていくために、DOI登録を担う日本の学術インフラ機関としてのあり方を検討し、拡充します。